

事業評価シート

番号 1340070 - 001

【1.基本情報】

事業名	ごみ焼却処理事業(粗大ごみ処理及び発電事業含む)				
担当部署	環境事業部	担当課名	東部クリーンセンター		
総合計画政策	ごみの減量・資源化を推進します		政策コード	2 - 3 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成10年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、ごみを衛生的に効率よく処理する。	
事業の内容	ごみを効率よく焼却し、信頼性の高い排ガス処理システムにより、ダイオキシン類等有害ガスの排出を抑制し、周辺環境の改善に努める。また、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを最大限に活用する発電設備により、施設への電力供給を行うと共に余剰電力を売却する。	
事業の対象	何を	ごみ処理(普通ごみ及び粗大ごみ)
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	ごみ焼却(処理能力最大450t/日、稼働日数350日)、発電能力7,000kw 粗大ごみ処理(処理能力最大60t/5h)
平成29年度 (実施内容)	ごみ処理施設及び発電設備を安定かつ効率的に運転した。 (東部クリーンセンター粗大ごみ処理施設火災事故により粗大ごみの処理方法が変更された。)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	107,380	3,640	126,464	4,160	115,388	3,640
嘱託職員	13,130	1,300	13,260	1,300	24,102	2,340
アルバイト	264	60	264	60	276	60
計(A)	120,774	5,000	139,988	5,520	139,766	6,040

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	ごみ焼却施設運転管理業務	332,487	348,700	347,162
	ごみ焼却施設整備工事	225,733	266,312	173,029
	発電設備法定点検業務委託	42,660	32,184	33,480
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		1,538,436	998,711	1,015,302

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	1,659,210	1,138,699	1,155,068

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	71	69	68
その他	495,172	415,569	362,570
計(F)	495,243	415,638	362,638

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	1,163,967	723,061	792,430

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,821	1,754	1,931

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))					
活動指標名	廃棄物焼却量(粗大ごみ処理量)		単位	t	
	平成27年度		平成28年度		平成29年度
目標値	102,410	(6990)	102,410	(6990)	102,410 (6990)
実績値	105,339	(6099)	109,889	(6429)	109,374 (6739)

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)					
成果指標名	(発電量) 売電量		単位	万kWH	
	平成27年度		平成28年度		平成29年度
目標値	(3794)	1,925	(3794)	1,925	(3794) 1,925
実績値	(3827)	2,139	(4242)	2,489	(4218) 2,482

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	市の責務である一般廃棄物処理。 継続的・安定的・確実にを行うために、市が主体となって施設を維持管理し、一般廃棄物の処理を行う必要がある
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	焼却施設の全面的な運転管理を当初から委託し安定的な運転管理が行われている。 市の債務であり、他の方法への変更は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	継続的に良好な関係が構築されており有効に機能している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	安心安全のごみ処理を確保しつつ、効率的な運営を行っており、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市の責務であり現状維持が妥当と思われる。

事業評価シート

番号 1340070 - 002

【1.基本情報】

事業名	芥見リサイクルプラザ管理(ごみ問題啓発事業)				
担当部署	環境事業部	担当課名	東部クリーンセンター		
総合計画政策	ごみの減量・資源化を推進します		政策コード	2 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成10年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市リサイクルプラザ条例	

【2.事業概要】

事業の目的	再使用品譲渡事業として抽選会と、不要になった物を材料としたリサイクル体験教室を開催し、資源の再利用やリサイクルについて考え実践する場としてもらうため実施する。	
事業の内容	施設見学、再使用品譲渡事業として抽選会、リサイクル体験講座として紙すき体験、リサイクル工作及び夏休み親子リサイクル体験講座を行っている。	
事業の対象	何を	再使用品譲渡事業及び体験講座として不用品を材料としたリサイクル工作
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	年308日間の開館日
平成29年度 (実施内容)	ミニ抽選会8回開催した。リサイクル体験講座等でリサイクル工芸室の利用が48件あった。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	7,878	780	7,956	780	8,034	780
アルバイト	264	60	264	60	276	60
計(A)	8,142	840	8,220	840	8,310	840

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		2,973	2,184	373
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	再使用品選別修理作業業務委託	1,160	0	0
	PR事業	151	124	87
	パンフレット作成	182	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
		10,278	10,278	10,278
計(D)=B+C		13,251	12,462	10,651

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	21,393	20,682	18,961

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	2	0	1
その他			
計(F)	2	0	1

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	21,391	20,682	18,960

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	52	50	46

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	308	0	308
実績値	308	0	308

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来館者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	10,000	0	10,000
実績値	6,733	0	5,405

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	ごみ減量化のため、市民への啓発は必要事業である。 ごみ減量化のため、市民への啓発は必要事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設見学:小学生を中心に要望が多く、目的を達成している。 再使用品:毎日多数の応募があり、市民のリサイクル意識の向上につながっている。 講座:広がり不足特定の利用者の利用にとどまっている。 現状の運営(嘱託3人)が最も効率的と考える
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	施設見学:小学生を中心に要望が多く、目的を達成している。 再使用品:毎日多数の応募があり、市民のリサイクル意識の向上につながっている。 講座:広がり不足特定の利用者の利用にとどまっている。火災後本格的に粗大棟の復旧工事が始まったので開催事業の見直しを行った。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	見学・再使用品:無料 リサイクル講座:材料費等の実費だけの負担。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	今後の粗大棟の復旧工事を見ながら対応。

事業評価シート

番号 1340070 - 003

【1.基本情報】

事業名	最終処分場管理				
担当部署	環境事業部	担当課名	東部クリーンセンター		
総合計画政策	ごみの減量・再資源化を推進します		政策コード	2 - 3 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和54年度～	年度	根拠法令 関連計画※	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

事業の目的	最終処分場の維持管理を適正に行い公害防止に努める。	
事業の内容	焼却残渣の埋立及び浸出水を適正に処理して、周辺の環境保全に努める。	
事業の対象	何を	焼却残渣
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民
	どのくらい (具体的 数値で)	埋立総容量(大杉一般廃棄物最終処分場) 270,000m ³ 浸出水処理能力(北野阿原一般廃棄物最終処分場 220m ³ 大杉一般廃棄物最終処分場 180m ³ /日)
平成29年度 (実施内容)	埋立地と浸出水処理施設を適正に管理した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	10,504	1,040	10,608	1,040	10,712	1,040
アルバイト	0		0		0	
計(A)	10,504	1,040	10,608	1,040	10,712	1,040

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	焼却残渣運搬業務委託	19,567	19,567	0
	浸出水処理施設維持管理業務委託	10,213	10,213	10,213
	埋立地及び河川水質検査業務委託	4,181	4,278	4,314
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		67,697	71,029	77,118

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	78,201	81,637	87,830

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	8,157	8,164	8,126
その他	17	32	176
計(F)	8,174	8,196	8,302

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	70,027	73,441	79,528

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	170	178	194

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	埋立量	単位	t
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	16,400	16,400	16,400
実績値	13,927	14,735	14,895

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	環境への影響	単位	件
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市の責務である一般廃棄物処理。 地元住民の協力、理解によって成り立っている事業であり、継続的な地元理解を得るため、市が主体となって事業を行うことは必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	地元住民の理解を得るため必要なコストである。 市の債務であり、他の方法への変更は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	継続的に良好な関係が構築されており有効に機能している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	適正な浸出水処理を確保しつつ、効率的な運営を行っており、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	埋立量も計画どおり行われている。

事業評価シート

番号 1340070 - 004

【1.基本情報】

事業名	リフレ芥見管理				
担当部署	環境事業部	担当課名	東部クリーンセンター		
総合計画政策	健康寿命を延ばします		政策コード	1 - 2 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	指定管理者	
実施期間	平成18年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市リフレ芥見条例	

【2.事業概要】

事業の目的	スポーツ、リクリエーション施設として提供し、市民及び学校教育に利用して頂き、健康増進や文化リクリエーション活動の支援を目指す。				
事業の内容	歩行浴プール棟(歩行浴プール・サウナ・ジャグジー・温浴プール・リラクゼーションルーム・談話室・多目的ルーム・トレーニングルーム)、多目的ドーム、足湯、幼児用プール、芝生広場				
事業の対象	何を	歩行浴プール棟、多目的ドーム			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民等			
	どのくらい (具体的 数値で)	年308日間の開館日			
平成29年度 (実施内容)	年308日間の開館日				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		24,224	24,651	25,008
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	指定管理料	23,658	23,658	23,700
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		24,224	24,651	25,008

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	24,224	24,651	25,008

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	21	21	21
その他			
計(F)	21	21	21

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	24,203	24,630	24,987

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	岐阜市民等	岐阜市民等	岐阜市民等
受益者数	412,589	412,254	410,297
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	59	60	61

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開館日数	単位	日
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	308	308	308
実績値	308	308	308

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	60,000	60,000	60,000
実績値	62,591	62,292	64,815

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	手軽にできる健康増進施設である。 迷惑施設とされる一般廃棄物処理施設建設時に、地元対策として建設した。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	指定管理者制度を導入し安定的な運営ができています。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	利用料金制を取り入れた指定管理者制度を導入して安定的な運営管理が行われている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	指定管理者制度と利用料金制度により適正に運用されている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	迷惑施設の地元還元施設であること、目標値を超える利用者があることから現状維持が妥当と思われる。